

住職のひとりごと

●新型コロナウイルスの感染状況がようやく落ち着きを見せてきたようすが油断はせずに、終焉にむけての努力をしてゆきましょう。興徳寺では、昨年来その時々状況を見ながら、できるだけのことをやってきました。こと宗教に関わることに手抜きはしない、お坊さんは業をしてはいけない、というのが基本的な考え方です。いつも仏さまが守ってくれている、と信じています。これが

なければお寺の価値もないのではとも思います。年末・年始の行事も予定通りに行います。ご参加下さい。●外に出る事が減ったおかげでお寺周辺の環境整備に時間を費やす事ができ、これはこれでとてもありがたいことでした。弟子・泰潤も野外の仕事が好きなので二人して、山・竹林・庭の仕事に精を出しています。昨年ご縁をいただいた山本翔平さんという若い植木屋さんの指導を受け、草原を渡る風の流れを読んだり、地中の水の流れや空気の流れなどに思

いを馳せ、草を刈ります。まだまだ理解できないことばかりですが、自然に逆らうのでなく、自然のもつ偉大な力を利用して環境を整える、という考え方には大いに共感できます。「なんと中途半端な草刈りだ」と笑わないでしばらく見守ってください。四季おりおりに花が咲き、訪れてくれた方が「ここに来ると心がなごむ」と言っていただけのようなお寺づくりを目指します。また花好きの檀家さんからは珍しい花の球根や苗を届けていただき、嬉しい限りで

り上げられたこともあってか、大変な人出でした。折しもコロナの緊急事態宣言下、取材を断るべきであった、と反省しました。とくに問題だったのは道が狭いため駐車場から出る車と入る車がすれ違うのが困難で、上下に渋滞を起こしてしまい、小さなトラブルもあつたようです。また檀家さんの皆さま、お墓参りの方には、いつも通り上の駐車場を使っていただけよう手配してありましたが、ご迷惑をかけてしまった方もあつたかと思えます。お詫び申し上げますとともに、来年は対策を考えます。なお、県の観光協会だったか、「静岡県の穴場スポット100選」という企画に”彼岸花の興徳寺”を推薦したいとの連絡がありました。が、これはお断りしました。

暮のお経廻りの予定

- 12月1日 稲子(何軒か午後)～芝川・大久保
 - 2日 精進川と下条
 - 3日 下条～青木の一部
 - 4日(土)万野原新田、大岩・小泉
 - 5日(日)午後～富士見ヶ丘・宮原・源道寺・野中・星山・田中町
 - 6日～7日 青木～馬見塚、大中里外神・淀師・淀川町・中島町・穂波町
 - 8日 西町・貴船町・泉町・大宮町・宮町・豊町 9日北山・上井出山宮・栗倉・舟久保町・村山
 - 10日 富士市
 - 11日(土)三島～富士市の希望者、由井、清水・静岡・柚野
 - 12日(日)内房、大久保、希望者、柚野
 - 13日～柚野
- * 当方の都合で日付変更もあります。
** 変更を希望する方は ご連絡ください。



す。これからの季節、水仙・百合・あやめ・ききょうや山野草等々、もし分けてくれる種や株がありましたら是非お願いします。喜んで植えさせていただきます。●今年「彼岸花」、新聞やNHKで取

タイゼン・ケイタイ ; 090-2180-8591

●年末なのでお檀家さんには「お札(ふだ)」を同封します。「魔除け」となりますので玄関に外向けに貼ってください。その他、暦・一円貯金箱・年忌案内(該当者に)同封しました。ご確認を。●今回のイラスト、タイゼンが。【泰然記】

興徳寺便り

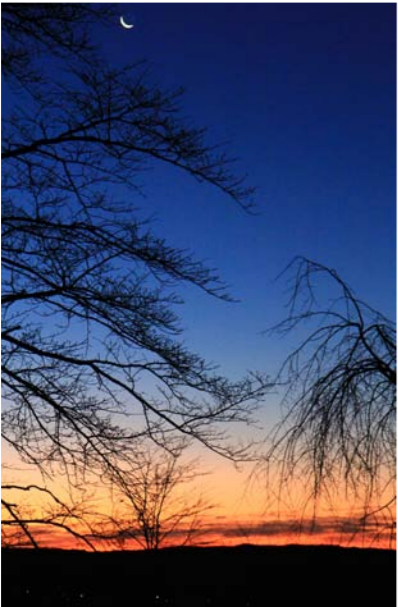
第134号 (復刊第59号) 令和3年暮

芯で燃える

燃える樹

どっしりと根をおろしたままもうどこへも行けない樹は樹であることを生きているふかく足をふんばりたかく胸をふくらませひろく腕をのびしながら百年も千年もいのちをあたらしくいのちをふかめてきた樹も人もおもう心は同じ春には若葉でわらい夏は茂ることですずしい秋はもみじした葉が

美しく舞うし冬にはすっぱりはだかになって自分をみつめる寒風にふるえながらも地底のあしうらから天をさすほそい指さきへいくすじにもわかれてたちのぼるいのちのぬくみをだしているくらやみにしんといてついで立つ樹無心な樹よ芯で燃えるみずかみかずよ『こえがする』より



みずかみかずよ 昭和10年福岡県八幡市に生まれる。私立尾倉幼稚園に勤務しながら作詩活動を続ける。『みのむし行進(葦書房)』『こえがする(理論社)』『きんのストロー(国土社)』など詩集を多数出版。昭和63年歿。

新型コロナウイルスの流行から2年近くが経過しようやく小康状態が保たれているように見えます。この2年間で私たちは、耐えることを学び、その中で喜びや新たな生き方も見出してきました。人の歴史の中で少しづつ変化してきた価値観をもう一度見つめ直すために、与えられた試練とも思えます。

今回は「燃える樹」という詩を紹介いたします。私たちの人生と大樹、何の関係もないようですが、おもう心は同じ、と作者は説きます。人も樹も約束のもとに生を受け、環境を受け入れ、耐え、生きることです。自ら役割を果たしている。共通するのは「命」というものの確かさです。

日蓮聖人『事理供養御書』の一節「財あるも財なきも、命と申す財にすぎ候。財は候はず、されば、いにしへの聖人・賢人と申すは、命を仏にまいらせて仏にはなり候なり。……人の価値観はさまざまですが、もっとも大切なものはお金や財産よりも「命」であることは疑いないことでしょう。それならばこの一身にとつてもっとも大切な「命」を投げ出す覚悟があつて、初めて仏になる(成仏する)ことができるのです。

寒い冬空にすつく立つ大樹、大地に根を張り、そこから枝先まで命が通い、芯は燃えている。私も、かくありたいもの。



11月14日、今年もコロナ禍の『お会式』。座席の間隔を開け、外にも椅子を用意し無事お勤めすることが出来ました。



宗祖日蓮大聖人740遠忌

お会式

太鼓担当は
小林正明さん



会計担当は
田口茂行さん



世話人の皆さま、
ありがとうございました。



今回の法話は、埼玉県川越市本応寺（ほんのうじ）より 星光照（ほしこうしょう）上人に来ていただきました。2年前の団参で法話をしていただき全員が大感激し、その場で興徳寺お会式への出座をお願いしました。「大いに笑わせて、途中でホロリとさせて、最後に『ウーンなるほどッ!』とさせるようなお話しを期待しています」と、少々プレッシャーをかけたような依頼をしたのですが、見事期待に添えてくれました。『サスガッ!』と全員納得、でした。

参詣者の数は例年より若干少なかったですが、良く晴れて温かな、良い「お会式」となりました。

【写真提供 高瀬幹雄】

暮れから年始のご案内

12月19日(日) 8:00~ **本堂の大掃除**
暮の忙しい時期ですが 御協力できる方は お願いいたします。2時間程度です。

12月26日(日) 15:00~ **写経** 16:00~ **唱題行**

12月31日 **除夜の唱題行** 23:30~
大晦日から新年にかけて1時間の唱題行ですが、冷え込みが厳しく、換気をする事ができませんので閉め切っています。ご理解の上、そっとうご参加ください。なお終了後のお楽しみ(新年コーヒータイム)はありません。

1月2日 **新年初法要** 10:00~ 法要 引き続き 法話
興徳寺の初詣です。ほとけさま、ご先祖さまに 越年(おつね)の感謝の祈りを捧げ、新しき年の安穏と 新型コロナウイルスの終焉を 御祈願いたします。いつものように オイシイ甘酒とお汁粉、お年玉付き。お誘いあわせでどうぞ。

1月20日~2月3日 **寒行**
今年の寒行も、お坊さんだけで実施することといたしました。
1月20~22日:興徳寺、23~25日:妙覚寺、26~28日:常境寺、29~31日:三澤寺
2月1日:妙泉寺、2日:定林寺、3日:妙泉寺。(節分の豆まきはあません)

興徳寺出発のコース 1月20日(木)大畑~押出~下組~鳥並
1月21日(金)辻~久保(大鹿窪)
1月22日(土)天神~猫沢
*お声をかけていただければ家内安全・身体健全の祈願経をあげさせていただきます。

1月23日(日) と 2月27日(日) 15:00~ **写経と唱題行**

興徳寺の裏山、通称『柚野山』に広葉樹を植え始めて11年目、去年はコロナで中止となった「植樹祭」が11月17日開催されました。興徳寺から500mほど東の「延命寺山」の頂上です。
海拔0m~3776mを一望する日本一!の絶景です。

